



# 桃一通信

No. 6 6 3

桃井第一小学校  
(3390)3178(代)

令和4年 4月号



## わくわくする桃一

校長 高橋 浩平

令和4年度が始まりました。桃一小は今年創立 147 周年。今年度も相変わらず新型コロナウイルスの影響は続いており、今後も感染症対策をとりながらの教育活動となります。保護者の皆様におかれましては、健康カードの記入、日頃の健康管理等、どうぞよろしくお願いいたします。

新1年生は149名、昨年度より1クラス多い26学級、児童数815名でスタートします。教職員7名が退職・転出し、10名の新たなメンバーを迎えて、令和4年度「チーム桃一」としてスタートします。

今年度から新たな教育ビジョンのもと、学校経営を進めてまいります。

### 杉並区教育ビジョン2022「みんなのしあわせを創る杉並の教育」

このビジョンを受けて、本校の令和4年度の教育活動のメインテーマを「わくわくする桃一」としました。6年生に5年の3学期に『わくわくする桃一』にどんなイメージがありますか?とアンケートをとりました。子供たちはまじめに考えてくれました。キーワードとしてたくさん出てきたのが「楽しい」「笑顔」「仲良し」でした。「わくわくする桃一」の実現のために、まず何よりも「楽しい学校」を目指していきたいと思います。

#### <学校経営の4つの柱>

#### ①学力向上②からだ力向上③国語教育の充実 ④インクルーシブ教育

①子供たち一人一人の力を伸ばすことが、一人一人

の幸せにつながっていきます。それぞれの子供の実態に応じた指導の工夫を進めます。

②「いわゆる運動能力だけでなく、運動の日常化や望ましい生活習慣・食生活について考え行動する総合的な力」である「からだ力」の向上を今年も図っていきます。心の健康も考えていきます。

③昨年度より国語の校内研究に取り組んでいます。引き続き、国語の授業の充実に努めていきたいと思っています。

④インクルーシブ教育とは、一言で言えば「排除しない教育」です。「できないことをほったらかしにしない」を合言葉に、実践を進めます。今年もまた、四宮小、井荻中と小中一貫連携校の三校で、「三校合同インクルーシブプロジェクト」を進めていきます。子供たちが学校生活を楽しくおくるために、インクルーシブ教育の観点は重要です。教職員の研修・実践を通してインクルーシブ教育の理解を深めていきます。

この4つの柱は、独立しているものではなく、それぞれが関連し合っているものです。

今年度も桃一小は、子供をまん中において、「魅力のある楽しい学校」づくりを進めます。皆さんとともに「わくわくする桃一」を創っていければと思っています。地域の皆様・保護者の皆様、ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



## 令和4年度の主な取り組み～ワクワクする桃～

『杉並区教育ビジョン2022』のスタートの年です。“自らの未来を拓き、社会の一員として共に生きる心豊かな子の育成”をめざして、以下の取り組みを進めます。

### 1 学力の向上をはかります。

- 基礎・基本の定着と「問題解決型学習」を進め、**自ら学ぶ力・考える力**を育てていきます。
- 算数では少人数指導を全学年で行い、理科の授業でも理科専科や理科支援員を配置する等、**理数教育の充実**をさらに図ります。また**ICTを活用した授業づくり**を推進していきます。
- タブレットを活用し、その子に応じた学習等、個別の学習の取り組みも進めていきます。

### 2 からだ力の向上をはかります。“高めよう！からだ力”

- 「いわゆる運動能力だけではなく、運動の日常化や望ましい生活習慣・食生活について考えて行動する、総合的な力」「**からだ力(りよく)**」の向上を目指します。
- ・心と体の健やかな成長を目指し、保健も含めた体育と道徳の授業のさらなる充実を図っていきます。
- ・体育の授業では「**桃一体操**」「**MOMO リズム**」「**リズム水泳**」等、体を動かす運動を取り入れていきます。
- ・仲よしタイム（長縄跳び・マラソン）等を通じ、**運動の日常化**に力を入れていきます。
- ・**食育**に関する授業を各学年で行うとともに、毎日発行の給食だより『ぱくぱく』等を活用して献立への関心を高めたり、食事マナーを身に付けさせたりしていきます。

### 3 国語授業の充実とともに、読書活動を積極的に進めます。“魅力ある学校図書館”

- 校内研究で国語の実践研究に取り組み、国語授業の充実を図ります。（今年度2年目）
- 学校図書館に新刊本を購入、蔵書数を増やし、学校図書館を充実させていきます。
- ・**読書旬間**（年2回）を設け、読書活動を推進していきます。児童の読書を活発化させていきます。
- ・学校司書や学校支援本部ルフランの協力による**読み聞かせ**や**お話し会**、PTA ボランティアによる**図書の貸し出し**等を行います。

### 4 インクルーシブ教育を進めます。

- 四宮小・井荻中と三校合同でインクルーシブプロジェクトを進め、インクルーシブ教育の理解を進めます。
- 「できないことをほったらかしにしない」を合言葉に、できる部分から少しずつ実践を進めます。

### 5 「4つのあ」が合言葉です。“あんぜん・あいさつ・ありがとう・あつまり”

- ・あんぜん・・・命を大切にする安全な学校にするとともに、自分の命は自分で守る意識をさらに育てます。
- ・あいさつ・・・日頃のあいさつを奨励するとともに、あいさつの標語づくりで浸透させます。
- ・ありがとう・・・感謝の気持ちを育て、言葉にします。
- ・あつまり・・・朝会や集会等に来る時間を大切に、桃一の子供の心を一つにします。

### 6 特色ある教育活動 “幼保小中連携の推進、外国語教育の充実（ももいちの英語）”

- ・小中連携校である**井荻中との教育交流**を進め、小中一貫教育をさらに推進します。
- ・**幼保小連携推進校**として交流・連携を深め、**就学前教育とのスムーズな接続**を進めます。
- ・**英語専科教員**の活用、外国人との交流等により、外国語教育の充実を図ります。

### 7 その他

- ☆**土曜授業**では、学校支援本部や地域の方々とさらに連携し、よりよい授業にしていきます。
- ・4年生以上の希望者による**早期スポーツ**、**放課後スポーツ**や**早期合唱クラブ**を行います。



#### ☆最後に、桃一の姿は…

- ㊦ …… もっと楽しく桃一
- ㊦ …… もっと鍛えよう、学ぼう、桃一っ子
- ㊦ …… いつでも桃一
- ㊦ …… チャレンジする桃一

## 特別支援の取り組み

杉並区では、区内のすべての小中学校に特別支援教室が設置されています。桃一小では、平成30年度に特別支援教室「ももいち教室」が始まり、今年度で5年目を迎えます。

ももいち教室では、一人一人の子供たちが安心して学校で学び、生活していくための活動を行っています。特に、クラスで皆と一緒に学ぶために必要なコミュニケーションスキルを高める活動を少人数で行い、その都度個別にフィードバックを重ねています。ももいち教室を担当する先生方は、三谷小学校を拠点校として、週に4日、桃一小に巡回指導として来校しています。

また、ももいち教室に通う子供たちに限らず、桃一小のすべての子供たちが、安心して学校生活を送れるように、一人一人の子供たちや、クラス全体をサポートすることができるよう、学習支援教員の先生、学級支援員の先生、ボランティアの方がいます。こうした、校内の特別支援教育を支える体制として校内支援委員会があり、学校全体で、子供たちの成長を見守っています。

特別支援教育コーディネーター

## 交通安全指導教室について 1年生 交通安全教室

4月19日(火曜日)の2・3時間目に1年生を対象に交通安全教室を行いました。

荻窪警察署の方を招いて、交通標識の確認や、横断歩道の渡り方などの学習をしました。実際に簡易の横断歩道と信号を使って歩行訓練をし、子供たちは約束事を守って取り組むことができました。

登校時や下校時のみならず、様々な場面でこの日学んだことを活かせるようになって欲しいです。



## 4年生 自転車安全教室

前日の雨天が嘘のように晴れ、自転車安全教室を開催することができました。荻窪警察署・杉並区都市整備部の皆さんの協力のもと、自転車の実技を交え、交通ルールやマナーを学びました。また、自転車の点検や各ポイントでの声掛けなども、保護者・地域の方にご協力をいただきました。

4年生は実技後、「一時停止や安全確認をする場所がたくさんあった。」「一本道やジグザグの所は、操作するのが難しかった。」などの感想が聞かれました。

学習後には、自転車の免許をいただき、これからの安全運転に対する意識が高まった1日となりました。

